

令和5年度第3回総合教育会議

学校経営の方針に基づく取組結果について



高浜市立吉浜小学校  
鈴木 剛





教育目標 強いからだと美しい心をもった児童を育成する

- 考える子
- 健康な子
- 素直な子



## 目指す子ども像「ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子」

### 学校経営ビジョン

自立した大人になるための基盤を育み、自信と希望をもって生きていくことができる力を育むための学びを保証する教育を追究する

### 経営方針

- ① 教員の授業力向上を図る  
(子どもが聴き合い、考え、語り合い、ともに学びを深める授業を目指す)
- ② 学年・学級経営の充実  
(ありがたい学年・学級の姿を子どもたちと共有し、PDCAサイクルを活用して行う)
- ③ 子どもの主体性を育む  
(子ども自身が自分を育てるという主体的な態度を身につけられるよう学校・学年行事や児童会活動等への支援を強化する)
- ④ 地域愛を育む教育活動の展開  
(地域の方々と協働し、感謝する心と地域愛が育つ活動を行う)
- ⑤ 教職員の働き方改革に係る業務改善  
(教職員が心身ともに健康で、毎日、笑顔で子どもたちの前に立つことができるよう業務改善を進める)



ともに学びを深める授業



主体性を育むペア交流



自ら創りだしたフラッグ演技



地域愛を育む菊人形制作



### ともに学びを深めようとする子

- ・ふだんの授業や学級での活動の中で、子どもの聴く力、話す力を伸ばしていきます。
- ・学習課題の工夫等により、子どもの学習に対する意欲、課題に対する追究意欲を高めていきます。
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業の創造により、ともに学びを深めようとする子どもを育てます。

### 主体的に活動できる子

- ・PDCAによる学級経営により、子どもが互いのよさを認め合い、自分の成長に気付きながら自己向上力を育む学級づくりを進めます。
- ・学校行事や児童会活動等を、子どもが、「自ら企画、協働して実行、振り返り」を行えるようにするとともに、その活動を賞賛することで、子どもの主体性を育てます。

### 感謝する心をもつ子

- ・地域の方々との野菜栽培、福祉実践教室、菊人形・細工人形制作等の活動を通して、感謝の心と地域愛を育みながら、ふるさとに誇りをもち、地域に貢献しようとする子どもを育てます。
- ・学校と保護者・地域との連携を密にし、保護者や地域の方と協働して心豊かな児童の育成に努めます。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
十四日(木) 六年給食終了 十八日(火) 一年・五年給食終了 二十二日(金) 修了式	一日(木) 入学説明会 五日(月)～九日(金) 学習発表週間	十日(水) 書き初め会 十七日(水)～十九日(金) 書き初め展 二十八日(日) 高浜シティマラソン	十八日(月)～二十一日(木) 個別懇談会 十九日(水) 給食終了	一日(水) 就学時健診 十八日(土) 授業参観 二十四日(金) 県民の日学校ホリデー	十日(火) 後期始業 二十二日(日)～二十三日(月) 修学旅行 二十八日(土) 小中学校音楽会	六日(金) 前期終業式 四日(月) 避難訓練 二十九日(金) 校外学習	九日(水)～十五日(火) 学校閉校日 二十一日(月) 全校出校日	十三日(木)～十八日(火) 個別懇談会 十九日(水) 給食終了	一日(木) 運動会 十八日(日)～十九日(月) 緑の学校 二十四日(土) 高浜市少年の主張大会	十二日(金) 校外学習	六日(木) 入学式・始業式 十三日(木) 給食開始 二十二日(土) 授業参観・PTA総会 二十七日(木)～五月二日(火) 家庭訪問

今年度の主な予定



## 経営方針1

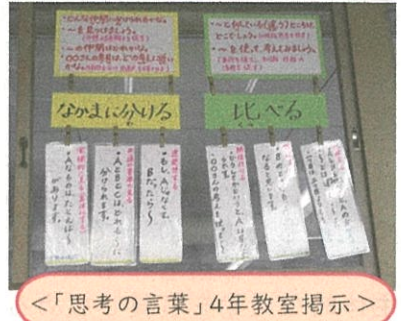
### 教員の授業力向上について

(子どもが聴き合い、考え、語り合い、ともに学びを深める授業を目指す)

一人一公開授業を授業力を高める大きな柱として位置づけた。公開授業については学年で同一教科・単元での授業公開することを基本とし、学年で単元構想や授業づくりに取り組んだ。指導案はロイロノートの資料箱で共有し、その中に参観の視点を書き込むようにした。ただ、参観者が学年の教員と四役になることがあり、教員に学んでほしい技術や手だてを目にする機会が少なくなってしまう。

授業後には参観した教員と授業者が協議を行い、成果と課題を洗い出し、今後につなげられるようにした。

実際の授業では、高浜市の給食費の変遷から食糧問題について考える5年社会科の実践など、子どもの追究意欲を支える課題の設定に力を入れた取組が定着してきた。また、子どもたちの「聴く姿勢」「つなげて話す話し方」の指導にも努めてきた。主題研究部から示された、「思考の言葉」を学年や子どもに合わせて置き換え、日常の授業での活用を促した。「〇〇さんの意見と少し似ている…」など、仲間の考えを踏まえて自分の意見を話す姿が見られるようになってきている。



◇児童の思考の流れを意識して単元の導入や話し合いの場面での教師の出、発問の工夫等考えた。算数の授業では単元で働かせる数学的な見方・考え方を軸に、深い学びにつなげられるよう授業づくりを行った。もっと頻度を高めて実践し、日々の授業改善につなげていきたい。

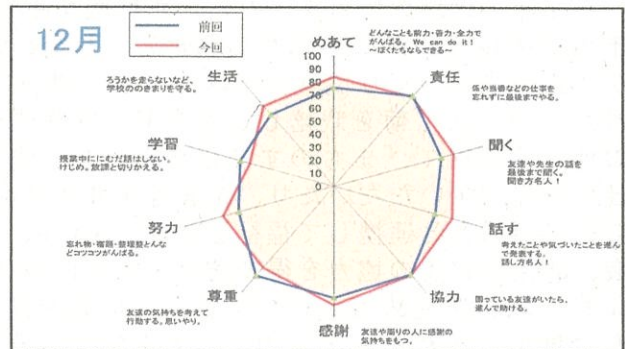
(教員の自己申告・評価シートより)

## 経営方針2

### 学年・学級経営の充実

(ありがたい学年・学級の姿を子どもたちと共有し、PDCAサイクルを活用して行う)

1年終えたときにこんな学年・学級でありたいという姿をイメージして、学級訓を決定するよう伝えてきた。行事や問題が生ずるたびに、子ども自身が学級訓とつなげ振り返り、善後策を練るなどの取組を期待したが、どの程度できたかについては明確には把握ができなかった。ただ、定期的に学級の様子や状態を振り返り、何ができていて何が課題であるのかを明確にし、改善に向けた取組を進める学級活動の授業などを目にすることができた。右の資料のように、ありがたい学級をイメージした各項目についてレーダーチャートで表し、進むべき方向を定め、それらを意識した生活が送れるような取組も見られた。



<5の1 学級の現状レーダーチャート>

◇学級力に関するアンケートを定期的に行い、結果をレーダーチャートで示すことで、学級をよくするためにどうするべきかを自分事として捉えやすく、短期目標を考えることができた。独りよがりだった子たちが周りのことを考えるきっかけになった。

(教員の自己申告・評価シートより)

◇友だちの気持ちを考えたり、思いやったりして一人一人がよりよい学校生活を送れるようにしたいから前回に比べてできていない「尊重」を目標にしたい。まちがった言葉づかいや言い方で人をきずつけないようにするために「ふわふわ言葉月間」作戦をやりたいです。

(5の1児童の授業プリントより)



### 経営方針3

#### 子どもの主体性を育む

(子ども自身が自分を育てられるよう学校・学年行事や児童会活動等への支援と、その活動を認め励ます教員の支援を充実させる)

子どもたちが主体的に活動できる機会を充実させ、それらを賞賛し、さらに活動を促す取組を充実させることができた。

6年生は運動会のフラッグ演技を、実行委員会を組織し、自分たちで考え、創り上げた。練習も自分たちで進め、本番では見事素晴らしい演技を披露することができた。11月に行ったミニコンサートでも同様に取り組み、その過程では他学年も引き入れ、交流を図った。他学年からは写真のようなメッセージが届けられた。

3年生では、読み聞かせボランティアさんが毎日、入っただけでないことから、「読み聞かせ係」をつくりたいという提案がなされ、後期からできた読み聞かせ係の子による読み聞かせも始まっている。さらに、ハロウィンの日には、「あいさつ運動」の旗に飾りがつけられていた。みんなが楽しく登校できればと考え、当番の子どもたちが作ってきたとのこと。こういった様子を、教職員はもちろん保護者にも伝え(別紙学校だより参照)、子どもたちの主体的な活動を賞賛し広めるようにしてきた。



<「読み聞かせ係」をつくったよ>



<6年生へのメッセージ>

◇みなさんととてもすてきな合唱ありがとうございました。みなさんととても声がそろっていてすごかったです。全員がとてもかっこよかったです。わたしたちも来年そんなかっこいい6年生になるためにがんばっていきましょうと思います。(6年生へのメッセージより)

### 経営方針4

#### 地域愛を育む教育活動の展開

(地域の方々と協働し、感謝する心と地域愛が育つ活動を行う)

各学年で地域の協力をいただいた取組を重ねることができた。4年生は大規模改修工事のため例年どおり菊の栽培ができなかったが、吉浜まちづくり協議会(以降「まち協」)の尽力により、限られたスペースで菊を栽培し、菊人形を制作することができた。その他、生活科で「まちのすてきさん」を訪問して、すてきさんの仕事を見せていただいたり、工夫等を教えていただいた2年生、社会福祉協議会と連携して福祉を学んだ3年生、吉浜まちづくり協議会、碧南警察署の協力を得て防犯・防災について学んだ5、6年生など、取組を進めることができた。取組を進める中で、子どもたちは地域に伝わる人・もの・ことを知り、そのよさを実感しつつ



<菊人形制作中>

ある。また、教えていただくだけでなく、例えば、まち協の事業計画のために子どもたちの考えを聞きたいという依頼があり、児童会の子どもたちがまち協と情報交換をする機会を設けた。その会で、児童会からさまざまな提案をすることができた。その一つが、「地域の子どもたちに鬼瓦づくりやとりめしづくりを体験をさせたい」という提案だった。児童会の子どもたちにとって、鬼瓦やとりめしは後世に引き継いでいきたい地域のよさの一つであることが分かる。「鬼瓦づくり」は令和7年度からまち協の事業として実施されることが決まっている。今後もまち協と児童会が定期的に情報交換を行っていくことになっている。

◇菊がかれてしまわないように責任をもって水やりをしました。みんなで育てた菊で、「ネコバス」が出来上がって感動しました。来年も菊を育てたいです。

(「菊人形の制作」振り返りより)

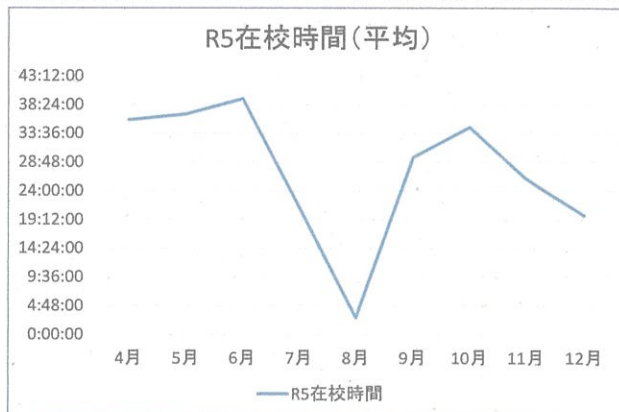
## 経営方針5

### 教職員の働き方改革に係る業務改善

(教職員が心身ともに健康で、毎日、笑顔で子どもたちの前に立つことのできるよう業務改善を進める)

教職員の在校時間について、1か月に45時間以内、年間360時間以内と定められている。令和5年4月から12月までの平均在校時間は右の資料のとおりである。月により差はあるが、多くの教職員が在校時間45時間以内であった。12月まで過労死ラインと呼ばれる在校時間が80時間を超えた職員は11月の1名のみであった。また、毎週水曜日を、「すいすい水曜日」とし、早めの退校を心がける日とした。ただ、水曜日の最終下校者の平均下校時刻が19時25分であり、勤務時間終了から2時間40分後となっている。一方、年次休暇の平均取得日数は13.6日であり、これは今年度設定の目標を超えている。ただ、私たちの業務改善は毎日、笑顔で子どもたちの前に立つことを考えており、時間等は一つの目安に過ぎないと考えている。

1月11日に業務改善に関わる研修を講師を招いて実施し、自分たちが取り組める改革がまだあること、目的は教育の質を高め、子どもたちと向き合うための時間を生み出すためであることをあらためて確認した。この目的を見失うことなく今後も改善を進めていきたい。



<令和5年度本校教職員の平均在校時間>





# 花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校  
令和5年11月6日 No.63

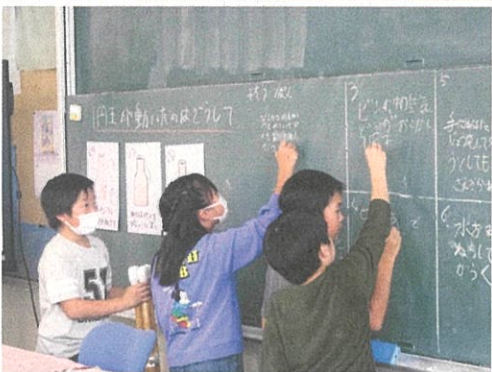
## 自ら課題に気づき、考え、実行する

早いものでもう11月。今年度もあと5か月となりました。4月当初と比べると、子どもたちは心も体もちよっぴりたくましくなり、成長したと感じる今日この頃です。

吉浜小学校では、「主体的に活動できる子どもを育てる」ことを目標の一つにしています。この点について、嬉しい場面を見かけることが増えています。その一部ですがここで紹介します。



まずは1枚目の写真です。3年1組では、後期に、「読み聞かせ係」が誕生し、写真のように係の子が毎週、読み聞かせをしているそうです。読み聞かせボランティアさんは毎週は来られないので、クラスで読み聞かせ係を作って、読み聞かせをしていきたいという提案がされたそうです。



続いて2枚目の写真です。4の1の理科の授業で、グループの考えを代表者が黒板に書いているところです。よく見ていただくと男の子が松葉杖を持っています。でもこれは男の子のものではなく、黒板に書いている女の子のものでした。女の子は足をけがして松葉杖なしでは黒板の所まで歩いていくことができません。かといって松葉杖をついたままでは黒板に書くことができません。そこで、男の子がついていき、黒板を書いている間、松葉杖を持ってあげているのです。それだったら誰かが女の子の代わりに書いてあげればよいと思うかもしれませんが、女の子の自分で書きたいという気持ちを大切にしたいと考えたようです。



続いて3枚目の写真です。その瞬間のものではありませんが、修学旅行では6年生の子が、昼食後、机にちゃんと入っていなかったイスをごくごく自然に机に入れて出て行く姿をみました。食堂の方にも、「ありがとうございました」「ごちそうさまでした」と伝えたり、会釈をしたりする姿が見られました。

最後の写真です。先週火曜日の児童会によるあいさつ運動の時の旗の一部を写したものです。児童会の子どもたちは、みんなが楽しく登校できるようにと考え、ハロウィーンのこの日に、ハロウィーンの飾りを作って持ってきて、あいさつ運動の旗につけあいさつ運動を行っていました。



このように自ら考えたこと、よいと思ったこと、感じたことを進んで実行していく、こんな場面をよく見かけるようになりました。心が温かくなります。簡単そうに思えますがなかなかできることではありません。勇気のいることです。でもこういった活動ができるのは、本人のがんばりももちろんありますが、それを受け入れ、認め、そういった場所や機会を作ってくれる仲間やご家族のみなさん、教員あってのことだと思っています。今後も一人一人が思いや願いをもち、それに基づいて積極的に活動ができるようにしていきたいと思っています。子どもたちのそのような活動を、認め、励まし、そして応援してあげてください。

